

鈴子バートン、MUFU Union Bank, N. A.

生まれも育ちも九州の熊本

山あり畑ありの田舎で育ちました。中学時代から英語が大好きでカーペンターズの曲をいつも聴いていたのを思い出します。将来は大好きな英語を使う仕事に憧れ、横浜の大学で英文科に進みました。

JALの時代

大学卒業する頃は就職難の時代。横浜で就職が見つからなければ熊本で学校の先生をする様に父から言い渡され、必死で就職を探していた時、日本航空提供のラジオ音楽番組”夜のジェットストリーム “で JAL 国際線スチュワーデス募集の知らせを聞き応募しました。

難関をどうにか突破、大学在学中に日本航空に採用が決まり大学 4 年の 12 月から羽田空港で 3 ヶ月の地上研修、その後無事に大学卒業 4 月からスチュワーデス訓練が始まりました。スチュワーデス物語のような涙と笑いの訓練を無事に終え、8 年間でローマ、ロンドン、ハンブルグ、パリ、デンマーク、コペンハーゲン、ニューヨーク、ハワイ、シドニー、北京、香港、シンガポール、バンコク、ジャカルタ、サンファン、サンパウロ等色々な世界中の街を訪れる事ができたのは貴重な体験でした。中でもハイライトは、仕事でローマ滞在中にスチュワーデス物語のロケーションにエキストラとして出演、堀ちえみ、風間杜生との記念写真は思い出があります。

サンディエゴ

San Diego との最初の出会いは 1980 年、JAL 時代に知り合った主人の転勤で初めて訪れたこの街の美しい海岸線、豊かな自然と温暖な気候に魅了されました。1982 年に主人と結婚、その後 3 年間 JAL での勤務を続け 1985 年に San Diego に移り住みました。結婚後 3 人の子供達に恵まれ、長男 29 歳、次男 26 歳、娘 25 歳が大きく成長してくれた姿を見ると少しは苦勞の甲斐があったかな～としみじみ喜びを感じる今日この頃です。

アメリカの銀行

銀行の仕事は、1986 年 California First Bank (今の MUFU Union Bank の前身) で Teller としてスタート。アメリカでキャリアを積みたいと考えていた矢先、主人が知り合いの銀行支店長から銀行員募集の話聞き、筆記、面接試験をどうにかパス、窓口で座ってお金を数えるだけで簡単と思い始めた仕事ですが、英語力のなさで色々辛い経験もありました。アメリカの銀行の仕組みが少しずつ分かってきた時、英語の分からない日本人のお客様 (駐在員、留学生、旅行者) の通訳を他の支店から頼まれたりするようになり、日本人の方々のお役に立てる事に喜びを感じました。

1996 年支店での仕事に物足りなさを感じていた時、日系企業部の存在を知り法人部 (Corporate Banking) に挑戦。当時はマキラドーラ制度で日本の大手セットメーカーとサプライヤー企業が Tijuana 地区に工場建設していた最盛期、預金回りのカスタマーサービスでお手伝いさせて頂き、現在はサンディエゴで約 100 社弱の日系企業 (主に製造業、製薬会社、IT 関連) に対して、ご融資・預金・運用・為替等のサービスをさせて戴いております。

弊行の説明を簡単に申し上げますと、支店では Union Bank の看板で知られておりますが、正式名は MUFU Union Bank, N. A. (MUFU とは Mitsubishi UFJ financial Group の略。) 支店はカリフォルニア、オレゴン、ワシントン州に 414 支店、従業員は約 13,000 人。主な事業部は支店が属する Retail Banking, Wealth Markets, Commercial Banking (Aerospace & Defense, Agriculture, Healthcare, Oil & Gas, Project Finance, Real Estate Industries), U.S. Corporate Banking, Transaction Banking, Investment Banking & Markets, 私が所属する Asian Corporate Banking...等がございます。

SDJBA に入会させて頂き、起業家の皆様のようなビジネスのお話を伺い、日系銀行 (三菱東京 UFJ 銀行の米国子会社) として何かお役に立てる事があればと考えております。銀行関連のご相談がございましたら、個人・法人関係なく何なりとご連絡ください。